

製品名: MEF2C (17M6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13785**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	MEF2C
別名	C5DELq14.3; DEL5q14.3; MEF2C;
遺伝子 ID	4208.0
SwissProt ID	Q06413
免疫原	ヒト MEF2C の組み換えタンパク質

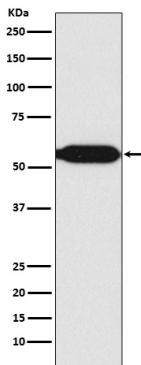
背景

多くの筋肉特異的遺伝子の調節領域に存在する MEF2 エlement に特異的に結合する転写活性化因子。心臓の形態形成と筋形成を制御し、血管の発達にも関与。興奮性シナプスの数を抑制し、基礎および誘発性シナプス伝達を調節することで、海馬依存性学習および記憶に不可欠な役割を果たす。多くの筋肉特異的遺伝子の調節領域に存在する MEF2 エlement に特異的に結合する転写活性化因子。心臓の形態形成と筋形成を制御し、血管の発達にも関与。SOX18 を介した転写活性化を促進する。興奮性シナプスの数を抑制し、基礎および誘発性シナプス伝達を調節することで、海馬依存性学習および記憶に不可欠な役割を果たす。大脳新皮質における正常なニューロンの発達、分布、および電気活動に不可欠。巨核球および血小板の適切な発達、ならびに骨髄 B リンパ球産生に必要である。BCR 刺激に対する B 細胞の生存および増殖、T 細胞依存性抗原に対する効率的な IgG1 抗体応答、ならびに胚中心 B 細胞の正常な誘導に必要である。また、神経新生および皮質構造の発達にも関与している可能性がある（類似性に基づく）。リプレッサードメインを欠くアイソフォームは、アイソフォーム 1 よりも活性が高い。

研究分野

AMPK; タンパク質アセチル化; MAPK_ERK_成長; MAPK_G_タンパク質

画像データ



Raji 細胞溶解物中の MEF2C 発現のウェスタン ブロット分析。